

令和5年度 新ひのお台幼稚園 自己評価公表シート

学校法人中井学園 新ひのお台幼稚園

理事長 淡野 宏仁

教育理念

みんなの幸せを祈る保育 … 子ども・家庭・地域社会・教職員全ての、自己肯定感と成長意欲と共生意識を、バランス良く育む保育を目指す

目指す子ども像

元気な子 … 多種多様な経験を通して、おおいに遊び学べる子
 のびのび自然に親しむ子 … 豊富な自然体験を通して、命の存在を感じられる子
 集中力・けじめのある子 … 立腰教育を実践し、自分の気持ちを表現したり折り合いをつけられる子

今年度の教職員の振り返りをもとに、Keep（継続したいこと）・Problem（課題）・Try（解決に向けた手立て）を下表に記します。

学年 チーム	学期	Keep（継続したいこと）	Problem（課題）	Try（解決に向けた手立て）
満 3	1	・子どもの特性や発達理解	・子ども同士が認知し合う ・排泄	・個人名が分かる環境構成 ・成長に合わせた関わり
	2	・関係作り ・トイトレ	・遊び環境の工夫	・コーナー作り（絵本など）
	3	・コーナー環境の活用 ・食事の援助	・臨機応変に環境や関わり を変えること	・発表会など行事の在り方 のアップデート
年 少	1	・保育者と子どもの関係を作 る関わり方の実践	・お友だち同士のつながり を広げる為の関わり ・子どもの玩具の扱い方に 対する言葉かけ ・保育手法の充実	・子どものお当番活動のア ップデート ・ゲーム遊び等の実践
	2	・お友だち同士のつながり を広げる為の関わり ・生活習慣の安定	・子ども同士のトラブルハ の保育者の関わり方 ・行事（作品展）の進め方	・トラブルに対する保育者 の捉え方の見直し ・遊びを通した関係構築 ・見通しを持った行事運営
	3	・見通しを持った行事（発表 会）運営 ・行事から繋がる保育実践 ・活動も含めた日常生活の 安定	・異年齢児との関わり合い ・子どもへの個別的関わり ・個別的関わりと集団への 関わりのバランス	・より幅広い関係作りが出 来る環境設定 ・子ども理解を話し合う場 作り

学年 チーム	学期	Keep (継続したいこと)	Problem (課題)	Try (解決に向けた手立て)
年中	1	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを示す保育 ・子どもの意見を引き出す場作り ・友だち同士の関わりを増やす保育 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの個別的関わり ・子ども同士の喧嘩への保育者の関わり方 ・日常生活をマンネリ化させないような遊びの提供 ・子どもに自信を持たせる為の関わりや環境作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・お手伝いを通して、子どもの自己有用感を高める ・造形など素材を使った遊びの実践 ・子ども達が刺激されるような先生自身の振る舞いや言葉がけの実践 ・子どもが達成感を得られる言葉がけやポジティブになる励ましの多用
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・良い所見つけが可視化出来る環境作り ・子ども達の中で流行る遊びの探求(鬼ごっこ等) ・子ども達が刺激されるような先生自身の振る舞いや言葉がけの実践 ・作品展で目的ごとの小集団を作り、遊び込める環境を整えたこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別的関わりと集団への関わりバランス ・子ども同士の関係性の変化に対する関わり方 ・子どもが行事に対して意欲的に参加出来る為の環境作り ・子どもへの個別的関わりや理解を深める場作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・隙間時間に出来る遊びの提案 ・子どもなりの自己目標設定と共有 ・話し合いや、子ども同士で関係作りを築ける仕組み ・大集団で行う遊びの実践 ・良い所見つけとフィードバック
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会への意欲が高まるよう可視化した掲示物 ・子どもも保育者もチャレンジする ・時刻の感覚を養うゲームを日常生活に取り入れた ・子どもの意見を共有する場作りによる、子どもの心の育ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・競争心の芽生えから来る小さな喧嘩への関わり方 ・特定の活動が得意な子と苦手な子の差を小さくする為の援助 ・子どもの意見のまとめ方、合意の取り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事だけでなく、日常の様々な活動や遊びに子どもが意欲的になれる環境作り ・子ども達の可能性を広げる為の素材や活動の提供 ・子どもへの個別的関わりや理解を深める場作り

学年 チーム	学期	Keep (継続したいこと)	Problem (課題)	Try (解決に向けた手立て)
年長	1	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等の視覚支援で子どもの想像力を膨らませて、自由感のある製作活動 ・丁寧な言葉がけと導入 ・子どもの考える力を養う為に、敢えてすぐに正答を出さず共に考える関わり方 ・クラスで使う合言葉作り ・子どもが人の話を聞く姿勢を養う為の環境作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の喧嘩(言い合い)への保育者の関わり方 ・子どもの活動に対する苦手意識を払拭する関わり方 ・支援が必要な子どもに対する、周囲の子ども達の心情へのアプローチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達で喧嘩や言い合い、お互いの良いところについて話し合う場を設定する ・子ども達同士で感謝の言葉が往還出来るよう、保育者自身が多用する ・保育者が率先して支援の必要な子どもへ関わり、その姿を他の子どもに共有する ・保育者が話の最後に「どうぞ」を必ず言う事で切り替えを促す
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・例え話なども用いて、相手と優しく接する大事さを伝える言葉がけ ・話し合いの場と意見発表の場作りを適宜提供する ・子どもの意見交換が上手になっているので、その意見を活動に組み込んでいく ・保育者が率先して支援の必要な子どもへ関わり、その姿を他の子どもに共有する ・子どもへ役割に対する意識付けをする言葉がけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが保育者からの言葉がけだけでなく、自ら気付いてやるべき事に取り組めるような関わり方 ・子どもの語彙力の差を埋める保育者の援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の子だけがいつも発表するのではなく、みんなが楽しんで発表出来る環境作り ・言われて嬉しい言葉とそうでない言葉の感じ方を伝え続ける
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との交流事業 ・子どもが進行する朝の会の実施 ・子ども同士の話し合いの場で保育者がマインドマップを使って整理する ・子ども同士の遊びの中に保育者が積極的に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・活発化し過ぎた子ども達に自制を促す関わり方 ・行事のスケジュール管理 ・子どもの希望と実現可能な表現との折り合いを調整 ・子ども同士の喧嘩(言い合い)への保育者の関わり方 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境での保育を楽しむ(絵画の題材など) ・展開していく遊びの実践 ・他の保育者と価値観に触れ、幅広い手法や捉え方を知る

学年 チーム	学期	Keep (継続したいこと)	Problem (課題)	Try (解決に向けた手立て)
預かり保育 (ホームクラス)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日事前のミーティングで担当や流れを確認 ・ 毎日事後に振り返りミーティングを行い業務改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午前保育など、利用児が多くなると予想される日の保育場所確保の打ち合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーナー遊び環境の充実 ・ 情報共有や計画立案
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーナー遊び環境の充実 ・ 縦割り保育のメリットと年齢による遊びや生活の違いを考慮した環境作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午前保育など、利用児が多くなると予想される日は事前に人員確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前月のシフト調整時から前もって人員確保のアナウンス ・ 課外教室との事前調整
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ オペレーションの確立(子どもの荷物置場や声掛け等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨の日等、保育場所が限られる際の遊びの内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 預かり保育の活動内容や子どものお迎え時刻に関する喚起や周知等、様々な情報発信
フリー 保健 全体	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面飾り等の充実 ・ 様々なクラスで保育補助をする事による、保育の特色の把握 ・ フリー教諭の業務共有 ・ 導入に絵本を用いた視力検査 ・ お薬バンドの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パート職員・預かり保育チームへの情報共有 ・ 子どもへの個別的関わり ・ 様々な課題解決に向けたミーティングの時間の確保 ・ 3,4歳児の聴力検査の難しさ(子どもの機器操作) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LINEの活用した情報共有 ・ 子ども理解の研修やミーティングの計画的な実施
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先々の見通しを立てて業務に取り組む ・ 保育補助業務を通した子ども理解 ・ ケガ報告等でのお手紙の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フリー教諭の業務スケジュール管理 ・ 運動会開催時期の見直し(暑さ対策) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ToDoリストを活用し、進捗の可視化 ・ 小学校と協議、子どもの健康を最優先に行事の見直し ・ 課題を常に園全体で共有し、改善できる仕組み作り
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度までの反省や現場の先生方と意見交換して行事の見直し ・ ケガや病気等の園児に対する関わりや、保護者への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フリー教諭の業務だけでなく、全員の先生の業務の可視化や見通しの把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部署とのコミュニケーションの強化や仕組み作り